

三重大学大学院
工学研究科博士前期課程

学 生 募 集 要 項
(学部・修士一貫コース特別選抜)

令和8年4月入学（学部・修士一貫コース生）

重要

出願にあたり、web出願登録が必須となります。
詳細は本募集要項2ページを確認してください。

令和 7 年 6 月

【入学試験日程表】

<学部・修士一貫コース特別選抜>

内 容	日 程	掲載ページ
障害等のある入学志願者との事前相談	令和7年6月20日(金)まで	7～8ページ
出 願 期 間	令和7年7月15日(火)～7月23日(水)	3ページ
選 抜 試 験	令和7年8月20日(水)	4ページ
合格者の発表	令和7年9月12日(金)	5～6ページ
入 学 手 続	令和8年3月下旬	6ページ

「注」1. 各内容の詳細については、該当の掲載ページで確認してください。

2. 自然災害や人為災害、感染症の全国的な拡大等によっては募集要項に記載のある出願要件、出願期間、試験日及び入学試験の実施方法等を異なる内容に変更する可能性があります。変更のある場合は工学研究科webサイトにて掲載する予定です。

三重大学大学院工学研究科 web サイト <https://www.eng.mie-u.ac.jp/>

目 次

○ 三重大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー	1
○ 三重大学大学院工学研究科博士前期課程入学試験について	2
○ 令和8年度（令和8年4月入学）三重大学大学院工学研究科博士前期課程 学部・修士一貫コース特別選抜学生募集要項	
I. 募集専攻及び選抜別募集人員	3
II. 出願資格	3
III. 出願手続	3～4
IV. 入学者選抜方法等	4
V. 合格者の発表	5
VI. 入学手続	6
○ 各選抜共通事項	
I. 障害等のある入学志願者との事前相談	7～8
II. 入学検定料の返還について	8
III. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置	9
IV. 長期履修学生制度	9～10
V. 個人情報の利用	10
VI. 不正行為の取扱いについて	10～11
VII. 三重大学大学院研究科に入学する私費外国人特待留学生制度募集要項	11～12
○ 三重大学大学院工学研究科（博士前期課程）の概要	
I. 工学研究科組織図	13
II. 各専攻の紹介	14～18
○ 三重大学大学院工学研究科案内図	19

三重大学大学院工学研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー

○ このような人を育てます

工学研究科の博士前期課程では、地域・国際社会の発展と福祉に貢献することを目的とし、学際的・独創的・総合的視野を基盤にした専門的な工学の研究を通して、高度な専門技術者及び研究者としての基礎的能力を備えた人材を養成します。

○ このような人を求めます

- ① 高い志を持ち、高度な専門技術者や研究者を目指す意欲にあふれる人
- ② 工学研究に必要な基礎学力と専門分野における基礎知識を修得しており、高度な専門知識と技能を学ぶために必要な実践、応用及び創造の能力に富む人
- ③ 国際的社会で活躍するためのグローバルな感性と俯瞰的視点に富む人

○ 入学者選抜の基本方針

【学部・修士一貫コース特別選抜】

入学者の選抜は、志望専攻に関する分野のコースに在学し、志望専攻から予備選抜された学業成績優秀者を対象に提出書類の審査と口述試験及び面接の結果を総合して行います。

提出書類の審査及び口述試験にて、各専攻の専門分野で必要とする工学の基礎知識を測るとともに、面接にて研究意欲、適性を評価します。

【一般選抜】

入学者の選抜では、学力検査、提出書類の審査、面接（口述試験を含む）の結果を総合して合否判定を行います。

学力検査及び提出書類の審査にて、各専攻の専門分野で必要とする工学の基礎知識と英語能力を測るとともに、面接（口述試験を含む）にて研究意欲、適性を評価します。

【外国人留学生特別選抜】

入学者の選抜では、学力検査、提出書類の審査、面接（口述試験を含む）の結果を総合して合否判定を行います。

学力検査及び提出書類の審査にて、各専攻の専門分野で必要とする工学の基礎知識と英語能力を測るとともに、面接（口述試験を含む）にて研究意欲、適性を評価します。

【社会人特別選抜】

入学者の選抜では、提出書類の審査、口述試験及び面接の結果を総合して合否判定を行います。

提出書類の審査及び口述試験にて、各専攻の専門分野で必要とする工学の基礎知識と英語能力を測るとともに、面接にて、研究意欲、適性を評価します。

三重大学大学院工学研究科博士前期課程入学試験について

本研究科博士前期課程では、「大学等で学び得た知識や技能を本研究科でさらに発展・応用させ、より高度で専門的なものにしたいという強い意志を持つ者」、「企業や官公庁、研究機関等で積み上げた経験を生かし、大学院でさらに高度で専門的な研究を希望する者」、「技術先進国である日本で高度な知識や技術を学び、母国や世界に貢献したいという志を持つ者」といった多様な学生を積極的に受け入れ、研究・教育活動をより活性化させる目的で、「学部・修士一貫コース特別選抜」・「一般選抜」・「社会人特別選抜」・「外国人留学生特別選抜」の4種類の入学者選抜試験を実施しています。

選抜試験により出願資格・入学者選抜方法などが異なりますので、詳細については本募集要項をご確認ください。

重要

出願にあたり、web 出願登録が必須となります。

○下記サイト (ocans) にて出願登録の上、申込期間中に書類を郵送または持参で提出いただく必要があります。

<https://www.ocans.jp/mie-u?fid=4CSUVXYC>



○web 出願登録完了後発行される「受付 ID」と「申込者 ID」を書類に記載し、郵送してください。

○web 出願登録内容と書類に記載した内容に差異が無いよう注意してください。

○書類提出後の内容変更は認めません

令和8年度（令和8年4月入学）
 三重大学大学院工学研究科博士前期課程
学部・修士一貫コース特別選抜
学生募集要項

I. 募集専攻及び選抜別募集人員

専攻名	入学定員	選抜別募集人員			
		一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	学部・修士一貫コース特別選抜
機械工学専攻	55名	入学定員の半数程度	若干名	若干名	入学定員の半数程度
電気電子工学専攻	45名	入学定員の半数程度	若干名	若干名	入学定員の半数程度
電子情報工学専攻	10名	入学定員の半数程度	若干名	若干名	入学定員の半数程度
応用化学専攻	56名	入学定員の半数程度	若干名	若干名	入学定員の半数程度
建築学専攻	20名	入学定員の半数程度	4名	若干名	入学定員の半数程度
情報工学専攻	30名	入学定員の半数程度	若干名	若干名	入学定員の半数程度
計	216名	108程度	4名	若干名	108程度

- * 「学部・修士一貫コース特別選抜」で欠員が生じた場合は、「一般選抜」で振り替えることがあります。
- * 「社会人特別選抜」で欠員が生じた場合は、「一般選抜」に振り替えることがあります。
- * 「一般選抜」で欠員が生じた場合は、「社会人特別選抜」に振り替えることがあります。
- * 入学後、博士課程5年一貫コースを選択することもできます。

II. 出願資格

前年度に実施された「学部・修士一貫コース」選考に合格したもので、本入試に合格した場合には、入学を確約できるもの

III. 出願手続

(1) 出願期間

令和7年7月15日(火) から 7月23日(水) 17時まで (必着)

(2) 出願方法

入学志願者は、出願期間内に以下の<出願書類等>を、郵送又は持参により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。

※ (注) 出願にあたり、web出願登録が必須となります。2ページをご確認ください。

<出願書類等>

書 類 等		摘 要
ア	入 学 志 願 票	【本研究科所定の用紙】 記入の際は、志願票裏面の「入学志願票記入要領」を参照してください。 「振込証明書」を所定の欄にはがれないように、のりで貼り付けてください。 なお、入学志願票に記載する住所に合格通知書等を送付します。
イ	受 験 写 真 票 ・ 受 験 票	【本研究科所定の用紙】 出願前3か月以内に撮影した、縦4cm、横3cm、無背景、無帽、正面向きのを、所定の枠内にはがれないように、のりで貼り付けてください。
ウ	入 学 検 定 料	30,000円 ※振込手数料が別途必要となります。 振込の際には、振込用紙に記載の【納入方法】と【注意事項】を必ずお読みください。 (日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は不要です。)
エ	成 績 証 明 書	三重大学の所定のもので、厳封は不要。
オ	受 験 票 送 付 用 封 筒	長形3号の定形封筒に、郵便番号・住所・氏名を明記し、410円分の郵便切手を貼ってください。(海外在住者は不要です。)
カ	志 望 理 由 書	【本研究科所定の用紙】
キ	TOEIC®公開テスト 公 式 認 定 証	※機械工学専攻の受験生のみ必要です。 詳しくは5ページ「※英語の評定方法について」を確認してください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願方法は「書留郵便」による郵送とし、出願期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、郵便事情を考慮のうえ、余裕を持って発送してください。
- ② 電話・FAX・電子メール等による出願は受理しません。
- ③ 出願書類の提出後の内容変更は認めません。また、受理した出願書類は返還しません。
- ④ いったん払い込んだ入学検定料については、次のア又はイに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。(ア又はイに該当する場合は、7ページをご覧ください。)
ア 入学検定料を払い込んだが出願しなかった又は出願書類が受理されなかった。
イ 入学検定料を誤って二重に払い込んだ。
- ⑤ 本入試に合格できなかったものは、「学部・修士一貫コース」の合格を取り消します。
- ⑥ 持参により出願する場合は、9時から17時までを受付時間とします。(土曜・日曜・祝日を除く。)

IV. 入学者選抜方法等

(1) 入学者選抜方法

提出書類の審査及び口述試験の結果を総合して行います。

(2) 試験日程

令和7年8月20日(水)

「注」 試験日及び試験開始時間は、各専攻から別途連絡があります。

※海外在住者等の口述試験について

留学等で現在海外に在住されている方については、オンラインによる口述試験について検討します。
以下の期間に指導予定教員へ事前にご相談ください。

事前相談期間：令和7年6月20日(金)まで

※英語の評定方法について

専攻名	試験科目
機械工学専攻	<p>TOEIC 公開テスト (TOEIC® Listening & Reading Test) について願書提出締切り日から起算して2年以内のスコアを有効とします。TOEIC 公開テスト公式認定証を提出しなかった場合、出願書類を提出しても受理しません。</p> <p>団体特別受験制度 (IP テスト, カレッジ TOEIC), TOEIC スピーキングテスト/ライティングテスト, TOEIC Bridge のスコアは評価の対象となりません。</p>
上記以外の専攻	<p>一次選抜において TOEIC 公開テスト (TOEIC® Listening & Reading Test) のスコアの提出を求めたため、学部修士一貫コース特別選抜においては TOEIC のスコアの提出を求めません。</p>

「TOEIC に関して」

1. IP テストによるスコアとは「団体特別受験制度 (IP : Institutional Program)」により取得したスコアを指します。受験先の機関や団体は問いません。
2. TOEIC スコアの提出期限について

学部修士一貫コース特別選抜、外国人留学生特別選抜における英語の評定に利用可能な TOEIC 公開テスト (TOEIC® Listening & Reading Test) のスコアは、令和7年7月6日(日)実施分までを有効とします。

TOEIC 公開テストの受験機会を確保する観点から、TOEIC スコアの提出に限っては、願書提出締切日 (7月23日(水)) 以降の提出が可能です。TOEIC スコアの提出が願書提出までに間に合わない場合は、郵送又は持参により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。

TOEIC スコアの提出期限：令和7年8月14日(木) 17時 (必着)

なお、願書提出時に既に TOEIC スコアを提出していた場合は、上記提出期限における TOEIC スコアの差し替えは対応しません。

上記期日に間に合わない場合は、必ず事前に三重大学工学研究科チーム学務担当に提出予定日を連絡してください。

3. 出願書類の TOEIC®公開テスト公式認定証は、TOEIC から送られてくる紙の認定証 (原本) でも、QR コードが印刷されたものであればデジタル公式認定証の印刷物でも、どちらでも結構です。

V. 合格者の発表

- (1) 発表日
令和7年9月12日 (金) 10時頃
- (2) 発表方法
三重大学大学院工学研究科・工学部 web サイトに「合格者受験番号一覧」を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

三重大学大学院工学研究科・工学部 web サイト 【<https://www.eng.mie-u.ac.jp/>】
掲載期間：合格発表日から1週間程度

- (3) 合格発表に関する注意事項
 - ① 電話等による可否の照会には一切応じられません。
 - ② web サイトに掲載する「合格者受験番号一覧」は、本学が情報提供の一環として行うものであり、

公式の合格発表は郵送による通知で行います。

VI. 入学手続

(1) 入学手続期間：令和8年3月下旬（予定）

(2) 入学料及び授業料

① 入学料：282,000 円（予定額）

② 授業料：前期分 267,900 円（予定額）

（年 額 535,800 円）（予定額）

- 「注」
1. 入学手続の詳細は、令和8年3月上旬に送付する「入学手続要項」でお知らせします。
 2. 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。
 3. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定された新授業料が適用されます。
 4. 入学料及び授業料の免除、徴収猶予を希望する者は、入学料、授業料を納入する前に申し出てください。（詳細は入学手続要項で確認するか、学務部学生支援チーム授業料免除担当に問い合わせてください。）
 5. 本研究科では、職業等に従事しながら教育研究活動に取り組む者を対象とした「長期履修学生制度」を設けています。本制度については、8～9ページを参照してください。

各 選 抜 共 通 事 項

I. 障害等のある入学志願者との事前相談

障害等がある者に対しては、受験及び修学上の配慮が必要となる場合がありますので、出願に先立ち、必ず次により相談してください。

なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

また、相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学に関してより良い方法やあり方を模索するためのもので、障がいのある方の受験や修学を制限するものではありません。

事前相談の対象となる者【参考】

区 分	対象となる者
① 視覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 視力以外の視機能障害が高度な者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障害が著しい者 上記以外で肢体不自由者に関する配慮を必要とする者
④ 病弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者、又はこれに準ずる者
⑤ 発達障害	<ul style="list-style-type: none"> 学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

〔注〕 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

(1) 受験上の配慮の例

<ul style="list-style-type: none"> 試験場への乗用車の入構 車椅子の使用 補聴器の使用 連絡事項の文書による伝達 	<ul style="list-style-type: none"> 試験室を別室に設定 座席を最前列/最後列/出入口近く等に設定 試験室を障害者用トイレ近くに設定 試験時間の延長
---	--

(2) 相談の方法

電話又は FAX などによりあらかじめ工学研究科チーム学務担当に連絡した上で、次の内容を記載した相談書を工学研究科チーム学務担当に郵送などの方法で提出してください。

なお、相談の内容によっては入学志願者又は出身大学関係者等との面談を行うことがあります。

- ① 入学志願者の氏名、性別、生年月日、住所、連絡先の電話番号
- ② 出身大学等名・卒業（見込み）年月日
- ③ 志望専攻名
- ④ 障害の種類・程度（医師の診断書又は身体障害者手帳等の写しを提出してください。）
- ⑤ 受験及び修学上希望する具体的配慮
- ⑥ 大学等における生活状況等（主として授業関係）
- ⑦ その他参考となる事項

- (3) 相談の時期 ※web サイトに掲載済み。
令和7年6月20日（金）17時（日本時間）まで（土曜・日曜・祝日を除く）

- (4) 問い合わせ先
三重大学工学研究科チーム学務担当
〒514-8507 津市栗真町屋町1577 TEL：059-231-9469
FAX：059-231-9471

三重大学の取組み

三重大学では、「三重大学における障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部および学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。詳細は以下の web サイトをご参照ください。

URL: <https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html>

II. 入学検定料の返還について

いったん払い込まれた入学検定料は原則として返還されませんが、次のア又はイに該当する場合は、払い込み者本人からの請求により、払い込み済みの入学検定料を返還します。

- (1) 入学検定料が返還できる場合
- ア. 入学検定料を払い込んだが出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合
 - イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

- (2) 返還請求方法について
返還請求の方法については、以下の web サイトをご参照ください。
<https://www.mie-u.ac.jp/exam/folder/folder/index.html>

なお、外国送金の場合は事前に以下までお問い合わせください。

三重大学財務部財務管理チーム収入担当
TEL：059-231-9028
E-mail：syunyu@ab.mie-u.ac.jp

Ⅲ. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者の再教育への要請が高まっています。しかし、通常の教育方法のみで大学教育を実施した場合、社会人は最低2年間その勤務を離れて修学する必要があるため、大学教育を受ける機会が制約されています。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」と規定され、社会人技術者、教育者、研究者の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、本研究科では、大学院の履修を希望する社会人技術者、教育者、研究者等を積極的に受け入れるため、概ね次のような措置を行っています。

1. 通常の授業時間帯のほかに、夜間は平日の第11・12時限（18：00～19：30）まで、休日は土曜日・日曜日の第1・2時限（8：50～10：20）から第7・8時限（14：40～16：10）の間に授業を受けることができます。また、必要に応じて長期休暇を利用して授業を受けることもできます。
2. 上記による場合は、指導を希望する教員と十分相談の上、実施可能な履修計画を立ててください。

Ⅳ. 長期履修学生制度

本研究科博士前期課程は標準修業年限が2年ですが、職業等に従事しながら研究に取り組むには時間的制約など困難も多く、修了までに2年以上要することもあり、経済的負担が大きくなります。

そこで本研究科では、職業等に従事している者でも個人の事情に応じて柔軟に標準修業年限（2年）を超えて履修し、学位等を取得できるよう、「**長期履修学生制度**」を設けています。

(1) 長期履修の期間

長期履修学生として認められる期間は最大4年で、それぞれの年（学期）に支払う授業料は、標準修業年限の2年間に支払うべき授業料の総額を、長期履修学生として認められた修業年限で除した額となります。（下記【授業料の納入例】参照）

【授業料の納入例】

① 標準修業年限（2年）

1年目 (535,800 円)	2年目 (535,800 円)
-----------------------	-----------------------

<授業料総額 1,071,600円>

② 3年の長期履修学生として認められた場合

1年目 (357,200 円)	2年目 (357,200 円)	3年目 (357,200 円)
-----------------------	-----------------------	-----------------------

<授業料総額 1,071,600円>

1,071,600円 ÷ 3年 = 357,200円（1年間の授業料）

③ 4年の長期履修学生として認められた場合

1年目 (267,900 円)	2年目 (267,900 円)	3年目 (267,900 円)	4年目 (267,900 円)
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

<授業料総額 1,071,600 円>

1,071,600 円 ÷ 4年 = 267,900 円 (1年間の授業料)

「注」 【授業料の納入例】に記載されている授業料額は、予定額(年額535,800円)を基にしたもので、授業料の改定が行われた場合には、改定された新授業料が適用されます。

(2) 申請方法

長期履修を希望する場合は、申請期間内に「長期履修申請書(本研究科所定の用紙)」及び「在職証明書等(在職証明書又はそれに準ずる書類)」を、郵送により三重大学工学研究科チーム学務担当へ提出してください。(土曜・日曜・祝日を除く)

申請期間：令和7年7月15日(火) から 7月23日(水) 17時まで(必着)

(3) 注意事項

- ① 長期履修の申請要件や長期履修申請書(本研究科所定の用紙)の入手方法については、事前に三重大学工学研究科チーム学務担当にお問い合わせください。
- ② 長期履修を希望する場合は、必ず所定の手続により申請をしてください。入学試験の出願書類に長期履修を希望する旨の記入があっても、長期履修は認められません。

V. 個人情報の利用

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(以下「個人情報保護法」という。)が、平成17年4月1日から施行されました。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係る業務のほか、次のとおりです。

- (1) 合格者の住所・氏名等を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に関わる業務並びに健康診断等の健康管理に関わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できない形で、統計処理等の付随する業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用します。

※ 本学が取得した個人情報は、個人情報保護法第9条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく、他の目的で利用または第三者に提供することはありません。

VI. 不正行為の取扱いについて

(1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての試験の成績を無効とします。その他状況によっては警察に被害届を提出する場合があります。

- ① 出願時に虚偽の情報を入力したり、出願確認票に本人ではない写真を使用したり、口頭試問の際に虚偽の回答をすること等。
- ② カンニング(カンニングペーパー・参考書等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。

- ④ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、及びICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - ⑤ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。監督者等の指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(1)と同様です。
- ① 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類やコンパス、電卓等の補助具を監督者等の指示に従わず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
 - ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような申し出をすること。
 - ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

VI. 三重大学大学院研究科に入学する私費外国人特待留学生制度募集要項

I 概要

三重大学では、優秀な留学生を受け入れるため、入学料及び授業料を標準修業年限の間、全額免除する三重大学独自の奨学制度を新設しました。

令和8年度の採用予定人員は、全学で6名です。（工学研究科は1名）

なお、4月入学者で採用予定人員が満たされた場合には、10月入学者に対しては募集を行いません。

II 応募資格

以下の(1)～(4)すべてを満たすこと。

- (1) 三重大学大学院工学研究科の入学試験に合格し、入学予定の者。
- (2) 大学院在学中は、私費外国人留学生（在留資格は留学ビザ）として在学する者
なお、国費（文部科学省）留学生及び外国政府派遣留学生は対象ではない。
- (3) 学業、人物ともに優れており、心身ともに健康であること
- (4) 国際交流センターから依頼する三重大学が実施する各種行事や調査等に参加、協力すること

※新たに海外から留学する者のほか、申請時に本学に在籍（正規生、非正規生であるかを問わず）している者も対象とします。

III 申請方法、申請締め切り

申請には推薦書が必要となるため、受入予定教員又は学務担当に問い合わせてください。

IV 奨学金と奨学期間

奨学金の種類：入学料及び授業料免除型

- | | | | |
|--------------|--------|------|--------------------|
| (1) 奨学金額 | 博士後期課程 | ：入学料 | 282,000円（予定額）を全額免除 |
| | | 授業料 | 520,800円（予定額）を全額免除 |
| (2) 奨学（免除）期間 | 博士前期課程 | ：入学料 | 282,000円（予定額）を全額免除 |
| | | 授業料 | 535,800円（予定額）を全額免除 |
- 標準修業年限

V 選考方法及び選考結果の発表について

推薦書、成績証明書、研究等業績調書及び研究計画書により選考します。
採否については、合格発表時に通知します。

VI 留意事項

当該特待生に採用後、虚偽の申請が判明したとき、又は特待留学生としてふさわしくない行為があった場合には、特待生としての身分を取消されることがあります。

VII 規程

本制度は、「三重大学大学院研究科に入学する私費外国人特待留学生制度に関する規程」に基づきます。

VIII 本件問い合わせ先

三重大学工学研究科チーム学務担当

TEL : 059-231-9469

FAX : 059-231-9471

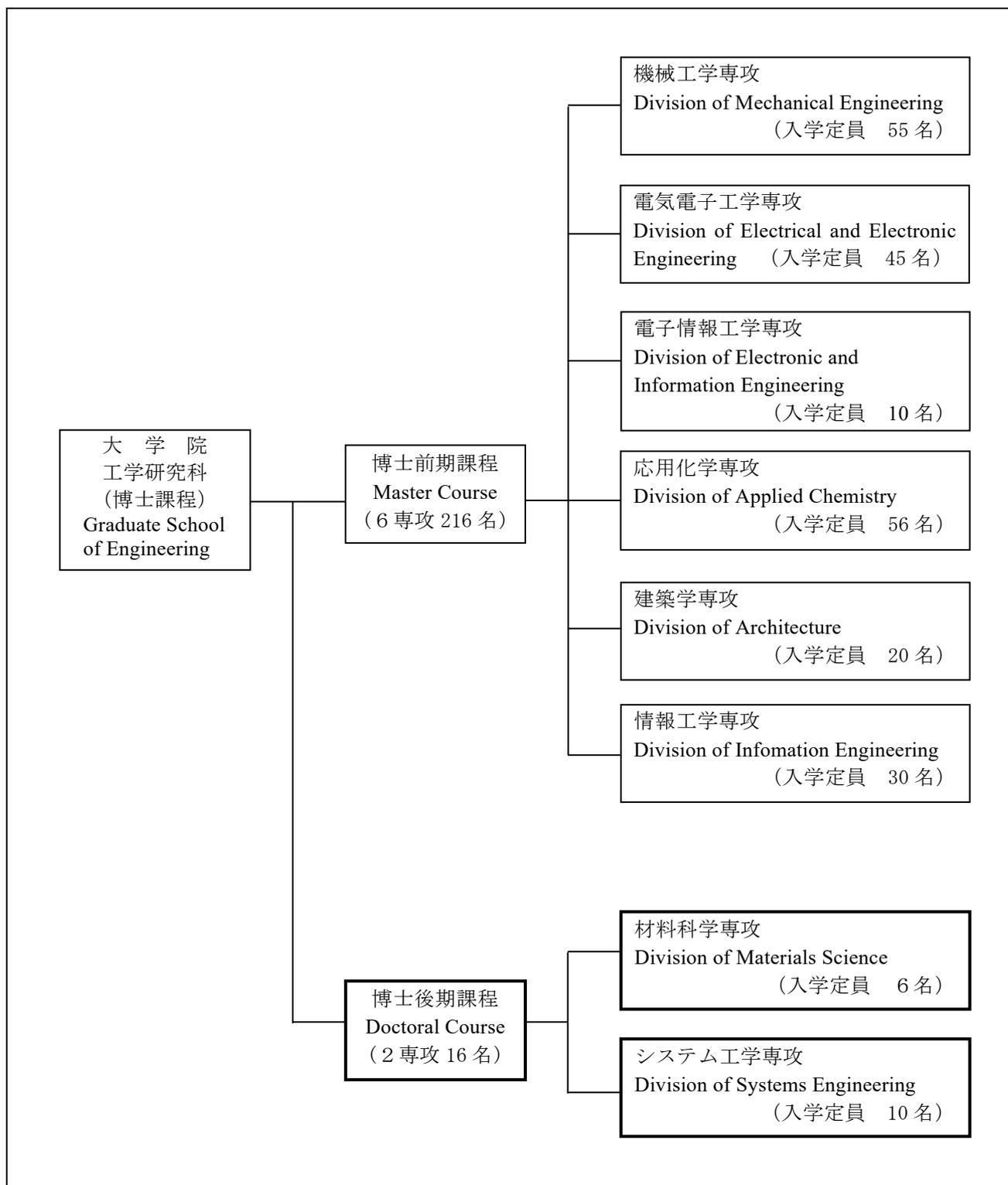
E-mail : eng-gakumu@eng.mie-u.ac.jp

【三重大学大学院工学研究科（博士前期課程）の概要】

三重大学大学院工学研究科は、修業年限2年で修了者に「修士」の学位が授与される博士前期課程と、修業年限3年で修了者に「博士」の学位が授与される博士後期課程から成り、博士前期課程には、機械工学専攻、電気電子工学専攻、電子情報工学専攻、応用化学専攻、建築学専攻、情報工学専攻の6専攻があります。

各専攻の教育研究分野、担当教員等については、「Ⅱ. 各専攻紹介」をご覧ください。

I. 工学研究科組織図（令和8年度4月1日時点）



II. 各専攻の紹介（令和8年度4月1日予定）

【機械工学専攻】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
ロボティクス・メカトロニクス	知能ロボティクス	教授 矢野 賢一 助教 松井 博和	ロボット工学，制御工学，人工知能，情報処理，電子機械学，ヒューマンインターフェース，医療・福祉工学
	人間支援システム	教授 池浦 良淳 准教授 早川 聡一郎	機械力学，人間-機械系，ハイブリッドダイナミカルシステム，制御工学，人間工学，ロボット工学
機能創成プロセス	材料機能設計	准教授 川上 博士 助教 尾崎 仁志	材料の機械的及び化学的諸性質，並びに各種材料の溶接に関する基礎と応用
	集積加工システム	教授 高橋 裕 准教授 中西 栄徳	高機能化加工，環境適合加工，難加工材加工，創質プロセッシング，通電加熱応用材料加工法の開発
	ナノ加工計測	准教授 松井 正仁	フラクタル解析，バイオプロセッシング，ノントラディショナル加工，塑性加工解析
機械物理学	生体システム工学	教授 稲葉 忠司 准教授 吉川 高正 助教 馬場 創太郎	物質及び構造物の強さ・変形及び安定性，CAE，バイオメカニクス
	物理学	准教授 鳥飼 正志	多体系の物理学，自己組織化，相転移，単純液体，液晶
	量子応用工学	教授 小竹 茂夫 助教 河村 貴宏	量子アルゴリズムの制御・振動への応用，力学物性，結晶成長，固体電子論，薄膜作成，物性計測
環境エネルギー	エネルギー環境工学	教授 前田 太佳夫 准教授 鎌田 泰成	流体力学，自然エネルギー利用技術（風力等），エネルギー環境機械及び装置
	熱エネルギーシステム	(教授 丸山 直樹) 准教授 西村 顕	熱工学，伝熱工学，乱流熱・物質輸送，エネルギー変換工学，数値シミュレーション，レーザー計測，環境工学，省エネルギー技術，燃料電池，熱交換器
	流動制御	教授 辻本 公一 准教授 安藤 俊剛 助教 高橋 護	流体熱工学，混相流工学，環境・エネルギー工学，流体・熱・物質輸送現象，実験と数値シミュレーション

【 電気電子工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
電気システム工学	電機システム	教授 駒田 諭 助教 小山 昌人	モーションコントロール（福祉ロボット・人間協働ロボットなど、電動機、電力変換器および各種制御機器に関する制御理論と応用
	制御システム	教授 弓場井 一裕 准教授 矢代 大祐	制御理論（データ駆動型制御設計、ロバスト制御）、モーションコントロール（医療ロボット、ハプティクス、ネットワーク化制御など）
	エネルギーシステム	准教授 山村 直紀	自然エネルギー利用発電システム、省エネルギー電力制御システム、高効率電力変換システム
	誘電・絶縁システム	准教授 青木 裕介	金属接続、導通現象、高分子材料、絶縁特性、コネクタ、複合体材料、有機エレクトロニクス、フォトニクス、有機・無機ハイブリッド材料の機能化
	磁気システム	准教授 藤原 裕司	磁性材料工学、軟磁性薄膜、磁性微粒子、磁気センサ
情報通信・フォトニクス	通信システム工学	教授 森 香津夫 准教授 羽多野 裕之 助教 眞田 耕輔	移動体通信、衛星通信、無線LAN、高度交通システム、アドホックネットワーク
	高周波 メタフォトニクス	教授 村田 博司 准教授 松井 龍之介 助教 大田垣 祐衣	光ファイバ通信、マイクロ波フォトニクス、光導波路デバイス、非線形工学デバイス
	知能情報システム	教授 高瀬 治彦	ソフトウェア工学、教育支援システム、人工知能
	画像情報処理	教授 川中 普晴 助教 北島 巧海	画像処理、情報メディア（文書画像、映像）理解、生体信号処理、機械学習、教育支援システム
量子・光ナノエレクトロニクス	スピントロニクス	教授 中村 浩次	量子応用、材料設計、物理計測、量子計算、計算機シミュレーション
	ナノオプティクス	准教授 元垣内 敦司	表面プラズモン共鳴、メタ表面に関する理論的研究と光デバイス応用
	ナノエレクトロニクス	教授 佐藤 英樹	新規ナノ材料生成プロセス開発、ナノ材料の電子デバイス応用
	量子ビーム テクノロジー	准教授 永井 滋一	新規ナノ材料を原子レベルで”観る”、”創る”、”測る”ための高輝度量子（電子、イオン、光子）ビーム源の開発
	量子回路 テクノロジー	准教授 内海 裕洋	物性基礎論、メゾ・ナノスコピック系の物理、量子コンピューター、電子相関、固体電子論、数理科学

【 電子情報工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
半導体工学	半導体デバイス	教授 三宅 秀人 (教授 中村 孝夫) 助教 赤池 良太 (助教 安永 弘樹)	半導体デバイス, 光デバイス, 電子デバイス, 窒化物半導体, 深紫外 LED, 半導体工学, 結晶 工学, 酸化半導体, 構造解析, オペランド観 察
	半導体計算科学	教授 秋山 亨	
	半導体結晶先端解析	(教授 姚 永昭)	
	半導体結晶工学	(教授 新田 州吾)	
デジタル工学	知能情報システム	准教授 木下 史也	半導体表面構造, ナノ構造, 第一原理計算, 計 算科学, むれ層表面, 姿勢推定 AI, 画像解析, 生体信号解析

【 応用化学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
物理化学	ナノ材料物理化学	教授 伊藤 彰浩 准教授 小塩 明	機能性有機分子材料の電子状態解析ならびにアーク放電, 化学気相成長法などによるナノカーボンやナノシリコン物質等の合成
	有機素材化学	教授 鳥飼 直也 准教授 藤井 義久	高分子物性 (界面・コロイド化学, 薄膜物性, ソフト複合材料)
	量子ナノ機能化学	教授 八尾 浩史 准教授 三谷 昌輝 助教 大西 拓	量子化学計算に基づく化学反応や分子物性などの理論解析
無機分析化学	無機素材化学	(教授 橋本 忠範)	環境とエネルギーの調和, クリーンエネルギー, 環境触媒の開発, ニューガラス, ニューセラミックスの開発
	エネルギー変換化学	教授 今西 誠之 准教授 森 大輔 助教 田港 聡	応用電気化学, 固体化学, エネルギー変換化学及び無機機能材料の開発
	分析環境化学	(教授 金子 聡) 准教授 勝又 英之 助教 榎木 友哉	分析化学 (極微量成分の分離・分析法の開発) と環境化学 (炭酸ガスの還元・固定化, 有害化合物の無害化・無毒化)

有機化学	有機合成化学	教授 八谷 巖 准教授 溝田 功	新しい有機合成反応の精密設計とファインケミカルズ合成への応用
	有機機能化学	教授 岡崎 隆男	新しい機能性有機分子の設計と合成，有機反応中間体の発生と反応
	高分子合成化学	准教授 宇野 貴浩 助教 Hazlina Binti Junoh	高分子の分子設計と構造制御及び機能性高分子材料の開発
生命化学	生体材料化学	教授 宮本 啓一 助教 晝河 政希	生体高分子（蛋白質化学，多糖の化学など），生体ゲル及び医療用高機能材料の開発
	分子生物学	教授 湊元 幹太 准教授 鈴木 勇輝	分子生物学（膜工学，細胞工学，遺伝子工学，核酸工学，抗体工学に基づく機能性タンパク質及び生体システム創成技術の開発）

【 建築学専攻 】

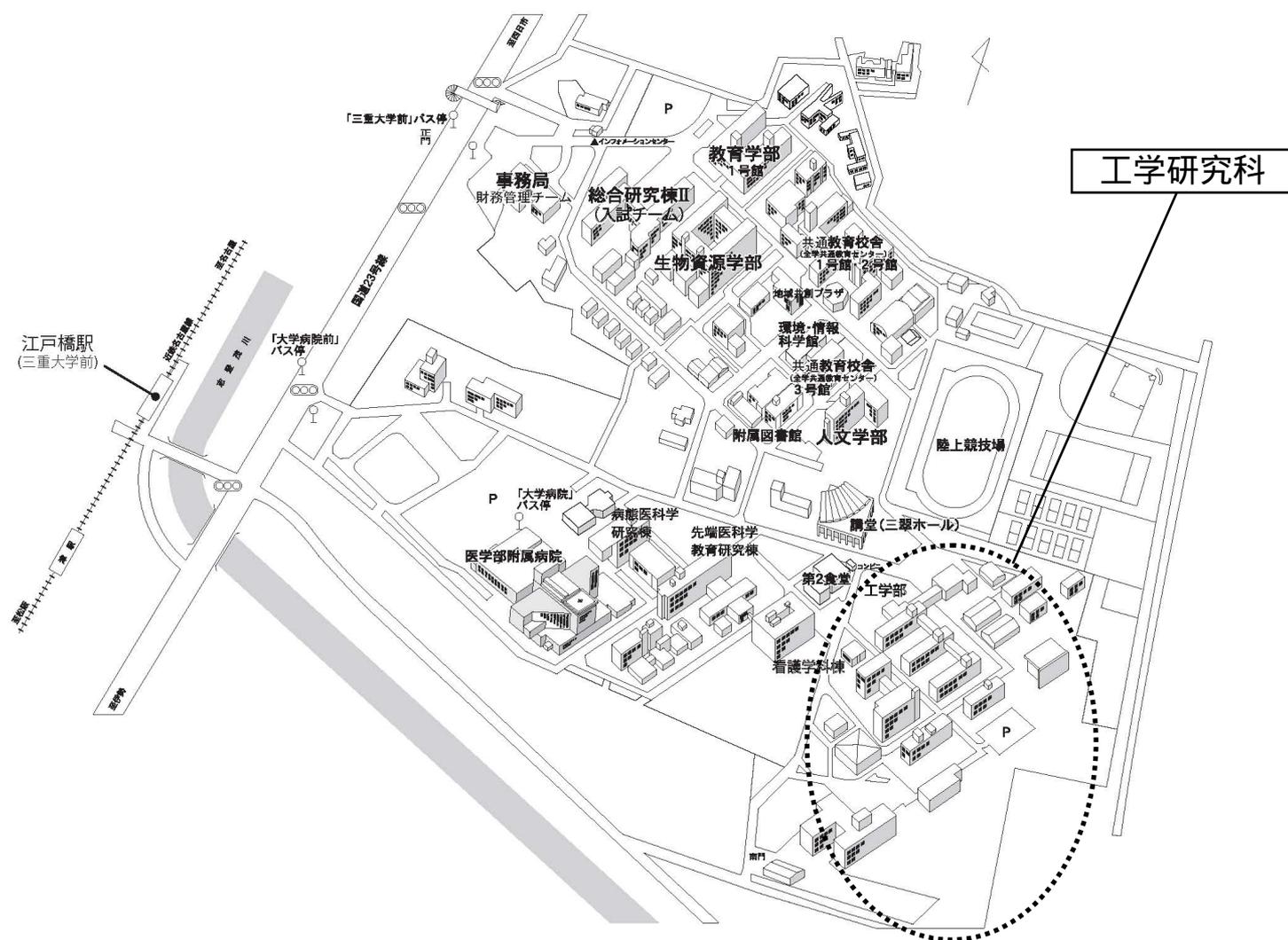
講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
建築学	建築計画系	教授 富岡 義人 教授 三宅 諭 准教授 大月 淳 准教授 近藤 早映 准教授 大井 隆弘	建築計画学（施設計画，施設維持管理など），建築意匠学（設計方法論，建築形態論，構法計画など），建築史学（建築史，保存活用計画など），地域計画学（都市計画，公共空間計画，景観設計など）
	建築環境設備系	教授 永井 久也 教授 寺島 貴根 准教授 北野 博亮	空調設備計画，省エネルギー計画，都市環境，建築音響，建築熱環境解析，自然・未利用エネルギー
	建築構造系	教授 三田 紀行 准教授 田端 千夏子 准教授 佐藤 公亮	建築各種構造（RC造，鋼構造，木質構造など），建築材料，建築施工，建築構法，建築力学
	地域防災系	教授 川口 淳 准教授 Ghezelloo Yegane 助教 孫 文可	地域防災，都市防災，災害復興，耐震技術，災害情報

【 情報工学専攻 】

講座	教育研究分野	担当教員	教育研究分野の内容
コンピュータサイエンス	コンピュータアーキテクチャ	教授 高木 一義 講師 大野 和彦	集積システム設計，組込みシステム，設計自動化，並列プログラミング，プログラム最適化，ソフトウェア開発支援
	コンピュータソフトウェア	教授 河内 亮周 講師 山田 俊行 助教 仙田 涼摩	理論計算機科学，暗号理論，量子情報科学，ソフトウェア基礎論，プログラムの解析・検証，アルゴリズム
情報ネットワーク工学	情報通信システム	教授 真鍋 哲也 助教 安藤 ダニエル 明	光アクセスネットワーク，センサ情報伝送システム，光経路切替システム，移動無線通信の信号処理，非地上系ネットワークの信号処理
知能システム工学	スマートシステム	教授 野呂 雄一 教授 福井 昌則 准教授 森本 尚之 助教 徳山 喜一	IoT システム，エネルギーマネジメント，デジタル信号処理，音・振動の計測・評価
	データサイエンス	教授 松岡 真如 講師 奥原 俊	リモートセンシング，地理空間情報解析，三次元データ処理，マルチエージェントシステム，人工知能，意思決定・合意形成
人間情報学	ヒューマンコンピュータインタラクション	教授 若林 哲史 准教授 盛田 健人	文字・パターン認識，医用画像の処理・解析，ヒューマン・インタフェース
	知能化ライフサポート	教授 林田 祐樹 (教授 湯田 恵美) 准教授 小川 将樹 助教 杉浦 友紀	脳神経機能補綴，生理情報計測，ニューロコンピューティング，生体信号処理，生体ビッグデータ解析，医療情報学，XRテクノロジー，視覚心理学，生体情報計測，細胞組織制御システム，埋植用組込み電子デバイス，医工向け集積システム

- 「注」 1. 記載内容は，令和8年4月1日予定のものです。
2. () は兼務担当教員を示します。

三重大学大学院工学研究科案内図



各種問い合わせ先について

問い合わせ時間等：月曜日から金曜日の8時30分から17時まで（祝日は除きます。）

工学研究科の入学試験に関すること 授業科目・学修に関すること	三重大学工学研究科チーム学務担当 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 TEL 059-231-9469 FAX 059-231-9471 E-mail eng-gakumu@eng.mie-u.ac.jp
奨学金（日本学生支援機構）に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-9061
入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-9678
学生寮に関すること	三重大学学務部学生支援チーム TEL 059-231-5371
入学料及び授業料の納入に関すること	三重大学財務部財務管理チーム TEL 059-231-9028

工学研究科の概要等については、三重大学大学院工学研究科・工学部 web サイトをご覧ください。

工学研究科・工学部 web サイト <https://www.eng.mie-u.ac.jp/>

工学研究科入試情報 web サイト <https://www.eng.mie-u.ac.jp/admission/index.html>